

製品名: CARD9 (N末端) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM86126**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	62.2kDa

抗原情報

遺伝子名	CARD9 (N-term)
別名	Caspase recruitment domain-containing protein 9, hCARD9, CARD9
遺伝子 ID	64170.0
SwissProt ID	Q9H257
免疫原	この CARD9 抗体は、ヒト CARD9 からの組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

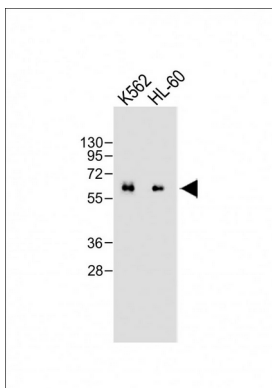
背景

C.albicans や L.monocytogenes など、多くの細胞内病原体に対する自然免疫応答において重要な役割を果たすアダプタータンパク

質。ITAM チロシンキナーゼと Toll 様受容体 (TLR) および NOD2 シグナル伝達経路の交差点に位置し、細胞内病原体に応じて様々な自然免疫応答経路を制御すると考えられています。L.monocytogenes 感染に対する応答では、NF- κ B を活性化することなく、NOD2 によるペプチドグリカンの認識を MAP キナーゼ (MAPK) の下流活性化に結び付けることで作用します。また、古典的な ITAM 関連受容体および TLR を介して骨髄細胞の活性化にも関与しています。TLR を介した MAPK の活性化には必要ですが、TLR を介した NF- κ B の活性化には必要ありません (類似性による)。酵母細胞壁成分ザイモサンによって誘導される CLEC7A (デクチン-1) を介した骨髄細胞の活性化を制御し、サイトカイン産生と自然抗真菌免疫を誘導します。BCL10-MALT1 を介した NF- κ B 活性化経路を制御することで作用します。BCL10 を介して NF- κ B を活性化します。C.albicans の菌糸型に反応して、CLEC6A (デクチン-2) を介した I- κ B キナーゼのユビキチン化を媒介し、BCL10 との相互作用を介して NF- κ B の活性化を誘導します。真菌感染に反応して、インターロイキン 17 産生 T ヘルパー (TH-17) 細胞の発達とその後の分化に必要となる可能性があります。

研究分野

画像データ



全レーン：希釈後の抗CARD9抗体 (N末端)